

報道関係者各位

2020年8月7日  
昭和電線ホールディングス株式会社

## 銅合金事業の製品開発体制強化に向けて

昭和電線ホールディングス株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:長谷川隆代)は、昭和電線ケーブルシステム株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:川瀬幸雄、(以下、「CS」))の相模原事業所にある金属材料開発部門を、銅合金線材の製造を行っている同仙台事業所へ年内を目途に移転することを決定しました。これにより、昭和電線ユニマック株式会社(本社:三重県いなべ市、代表取締役社長:山村隆史、(以下、「ユニマック」))の仙台工場で製造する銅合金巻線と合わせて、銅合金製品の開発から製造までの拠点集約によるグループ内のシナジー効果を最大化します。

### 1. 銅合金事業と今後の目指す姿

当社の高強度と高導電性を両立し、かつ耐屈曲性能に優れた銅合金は、主にモビリティ分野のヒータ線や医療用リード線として使用されています。銅合金の新製品開発は、CS 相模原事業所にある金属材料開発部門が保有する合金の設計、鑄造、伸線などの要素技術を応用し、大学、公的研究機関、他企業とのオープンイノベーションを展開しながら行っております。

この銅合金事業のさらなる拡大を目指し、金属材料開発部門を電装・コンポーネンツ事業の銅合金線を製造している CS 仙台事業所に、年内を目途に移設いたします。これにより、ユニマック仙台工場で製造する銅合金巻線と合わせ、開発から巻線製造までの拠点集約によりグループ内のシナジー効果を最大化し、ヒータ線をはじめとする銅合金新製品開発の加速と事業の拡大を図ります。

### 2. 移転する開発機能

- ・計算科学(第一原理計算)を応用した合金設計ならびに検証、試作
- ・高強度、高い伸び性、高導電性を持つ合金線材、導体の試作、評価
- ・極細線、特殊導体を含む各種線材、導体加工技術ならびに撚り線加工技術
- ・金属異形導体等の金属材料押出し加工技術
- ・上記技術を基礎とした新たな応用製品開発

### 3. 移転・集約の効果

- ・開発、製造、品質保証の拠点集約により、一気通貫体制になることで、新製品開発ならびに製品化期間の短期化。
- ・合金設計、金属材料開発技術、金属加工技術の強化による多種多様なソリューションへの積極的な提案体制。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

昭和電線ホールディングス株式会社 事業戦略統括本部 経営企画部 IR・広報課  
TEL:044-223-0520 FAX:044-223-0547